

# HISTORICAL AREA

— 歴史的風土保存地区での建築事例 —

# 1.OVERVIEW

歴史的風土保存地区での建築事例



BEFORE



AFTER

## 2.SITE ANALYSIS

敷地分析



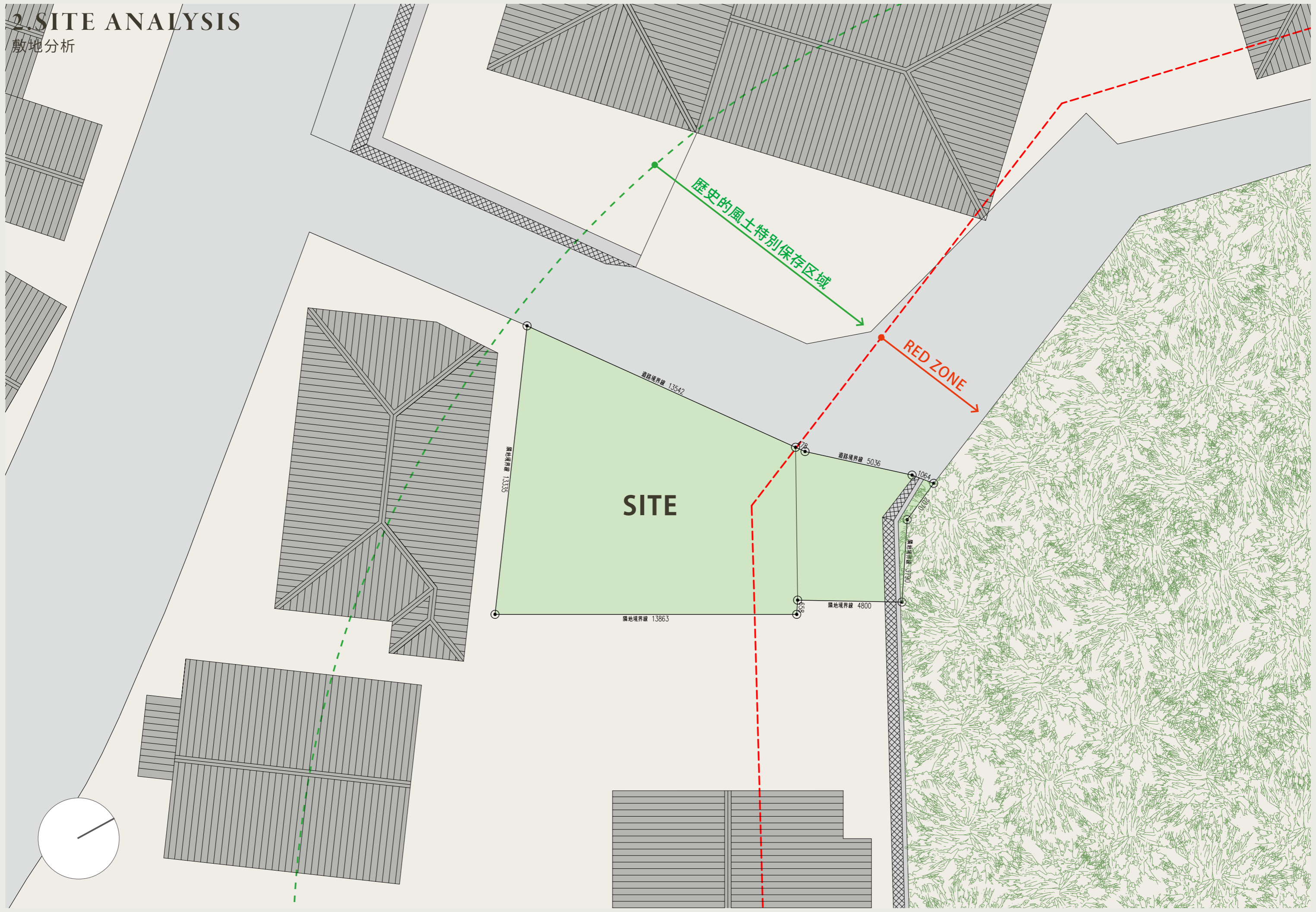
敷地は古都保存法に該当する



敷地には既存古屋がある

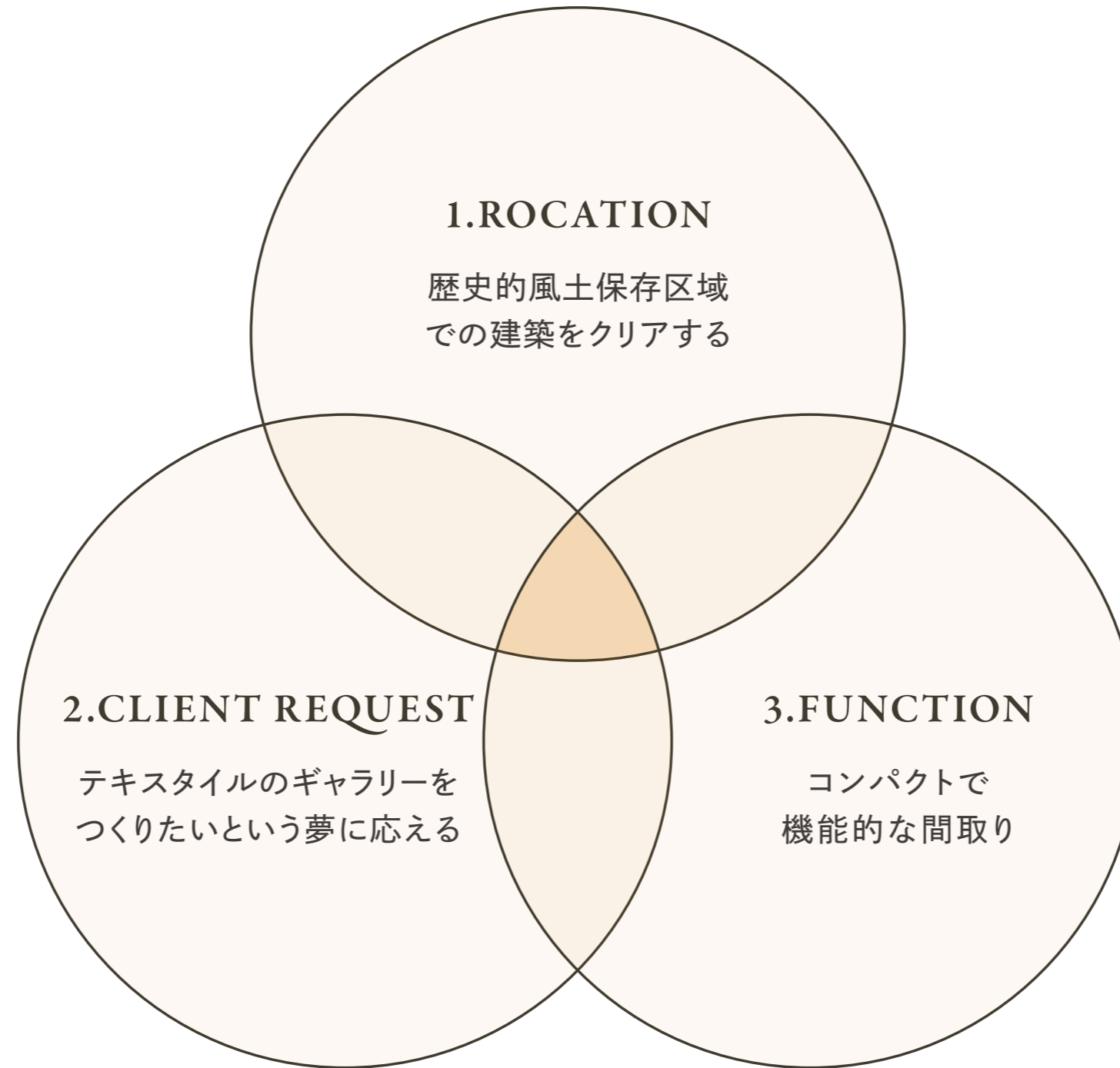
# 2. SITE ANALYSIS

敷地分析



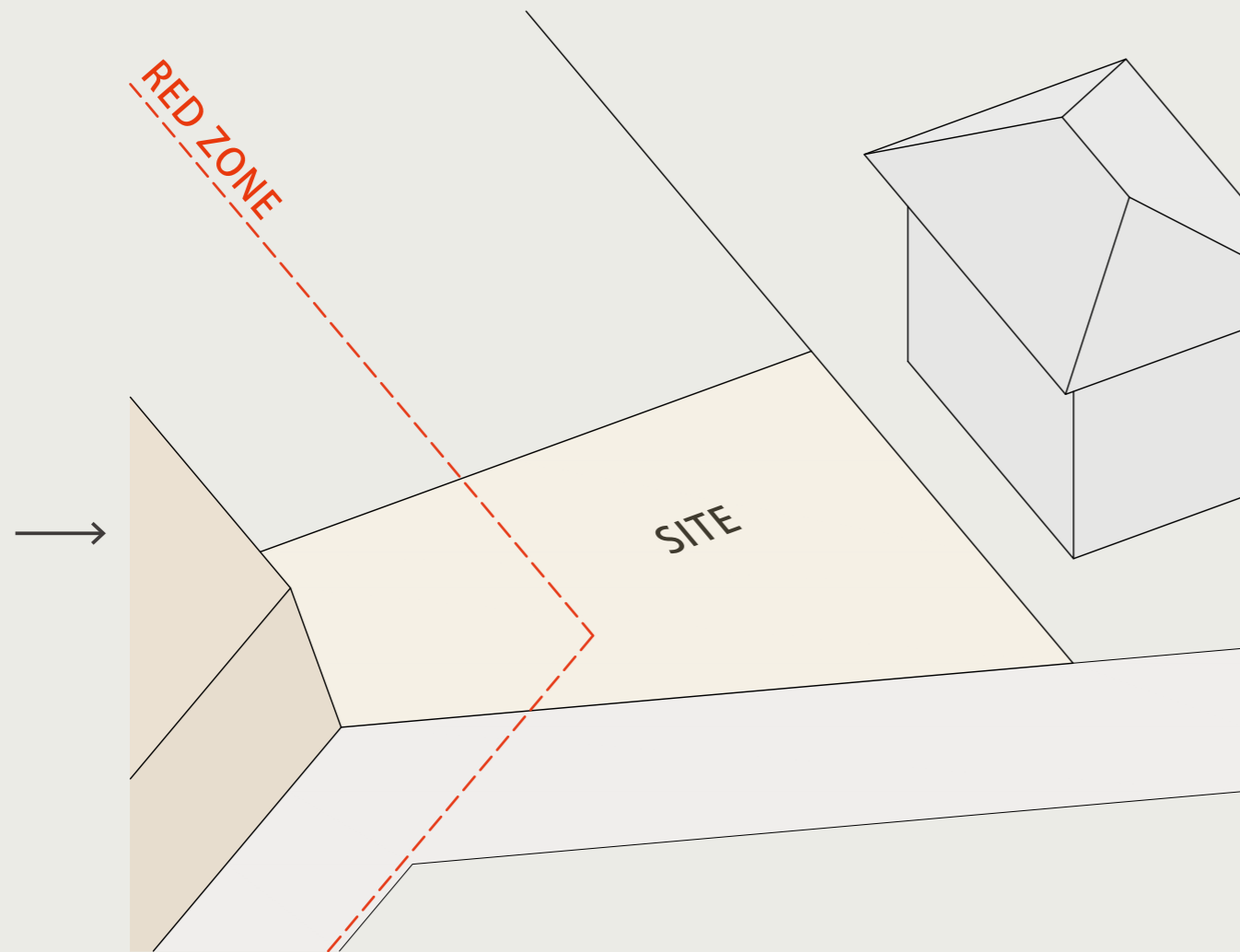
# 3.CONCEPT

コンセプト

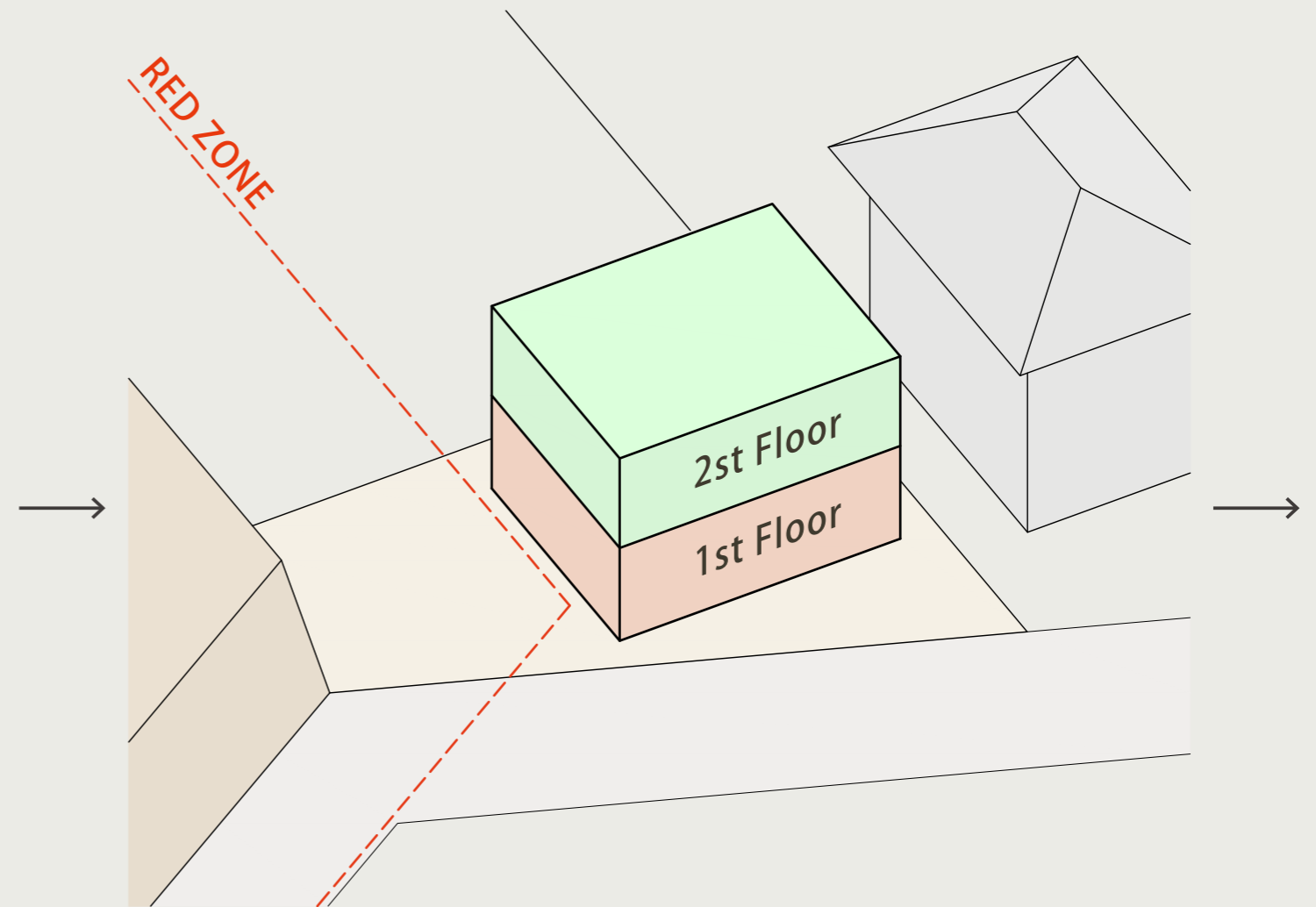


### 3.CONCEPT

ダイアグラム



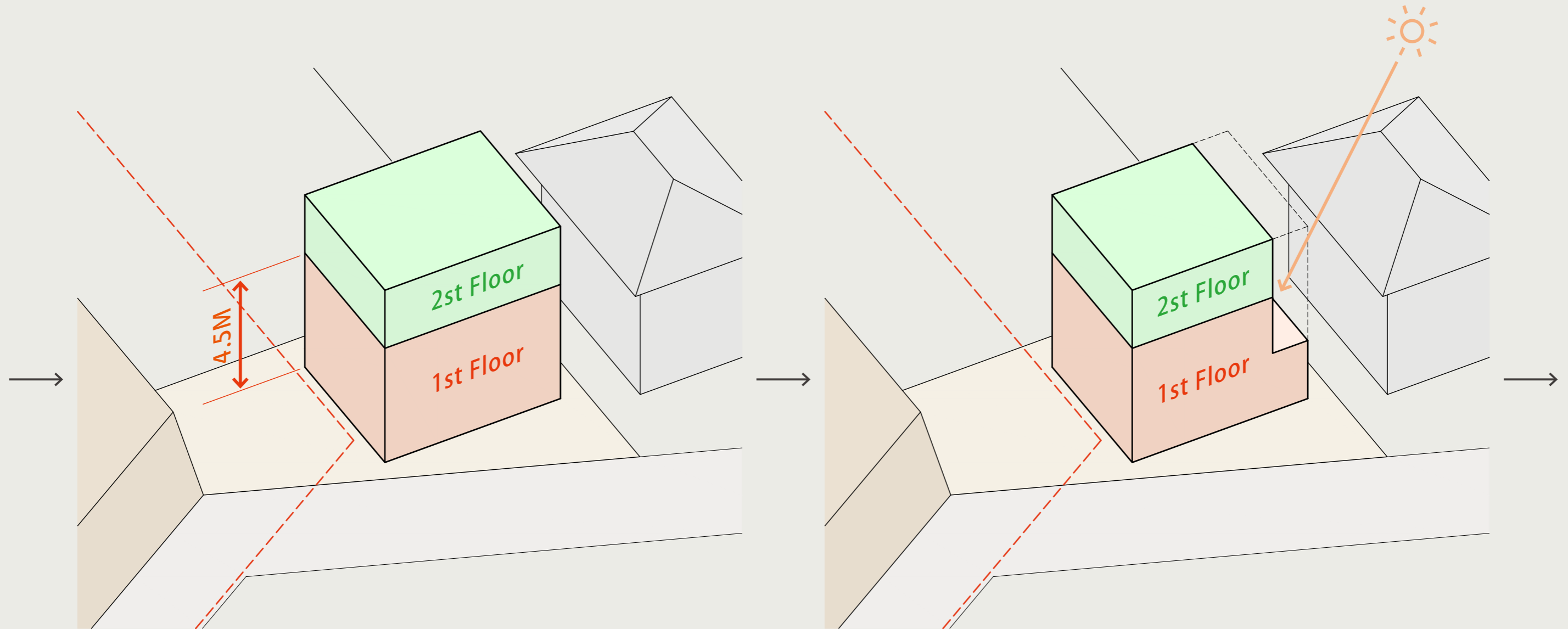
敷地の1/3はレッドゾーンの対象範囲である。



まずレッドゾーン範囲外のエリアに2階建てのシンプルなボリュームを仮定する。

### 3.CONCEPT

ダイアグラム

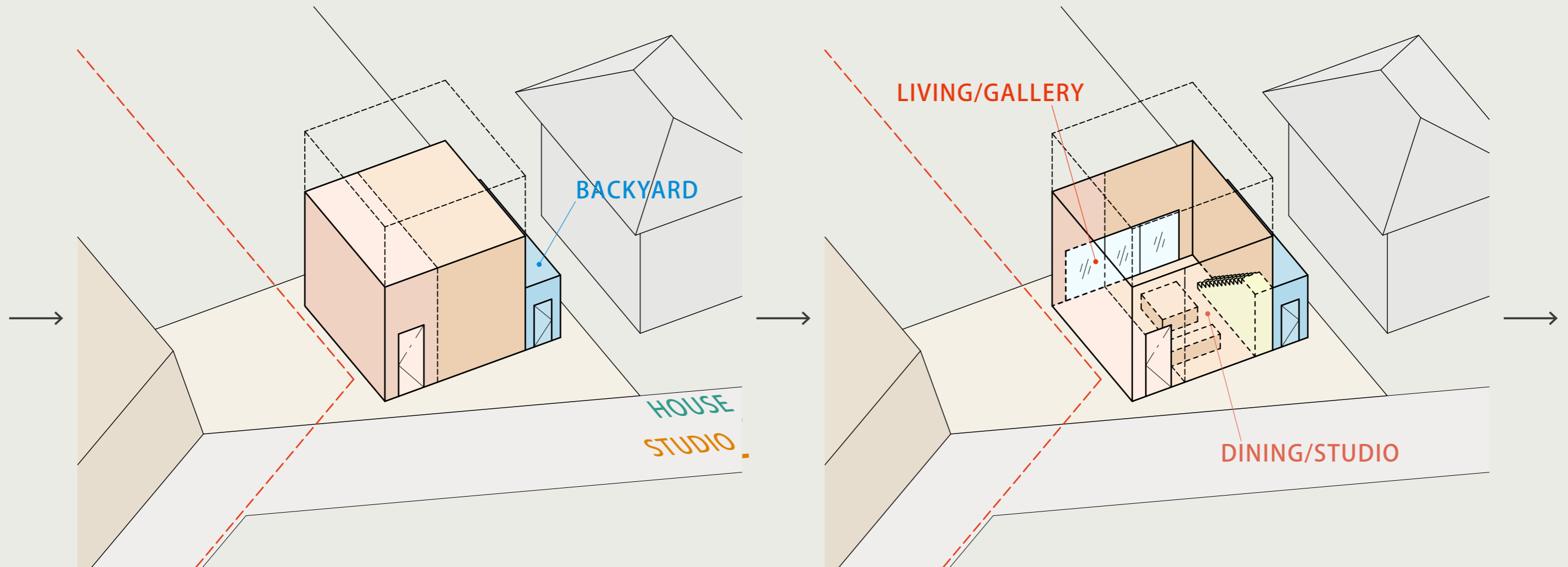


限られたコストのなかでも、建主の自宅にテキスタイルのギャラリースタジオを併設するという夢に応えるべく、1階のLDKにスタジオを兼ねる構成とした。1階の階高を高くし、スタジオとリビングに相応しい高天井を実現した。

隣家によって遮られがちな南側からの日射を1階まで届けるため、建物の南側ボリュームを削り込んだ。

### 3.CONCEPT

ダイアグラム



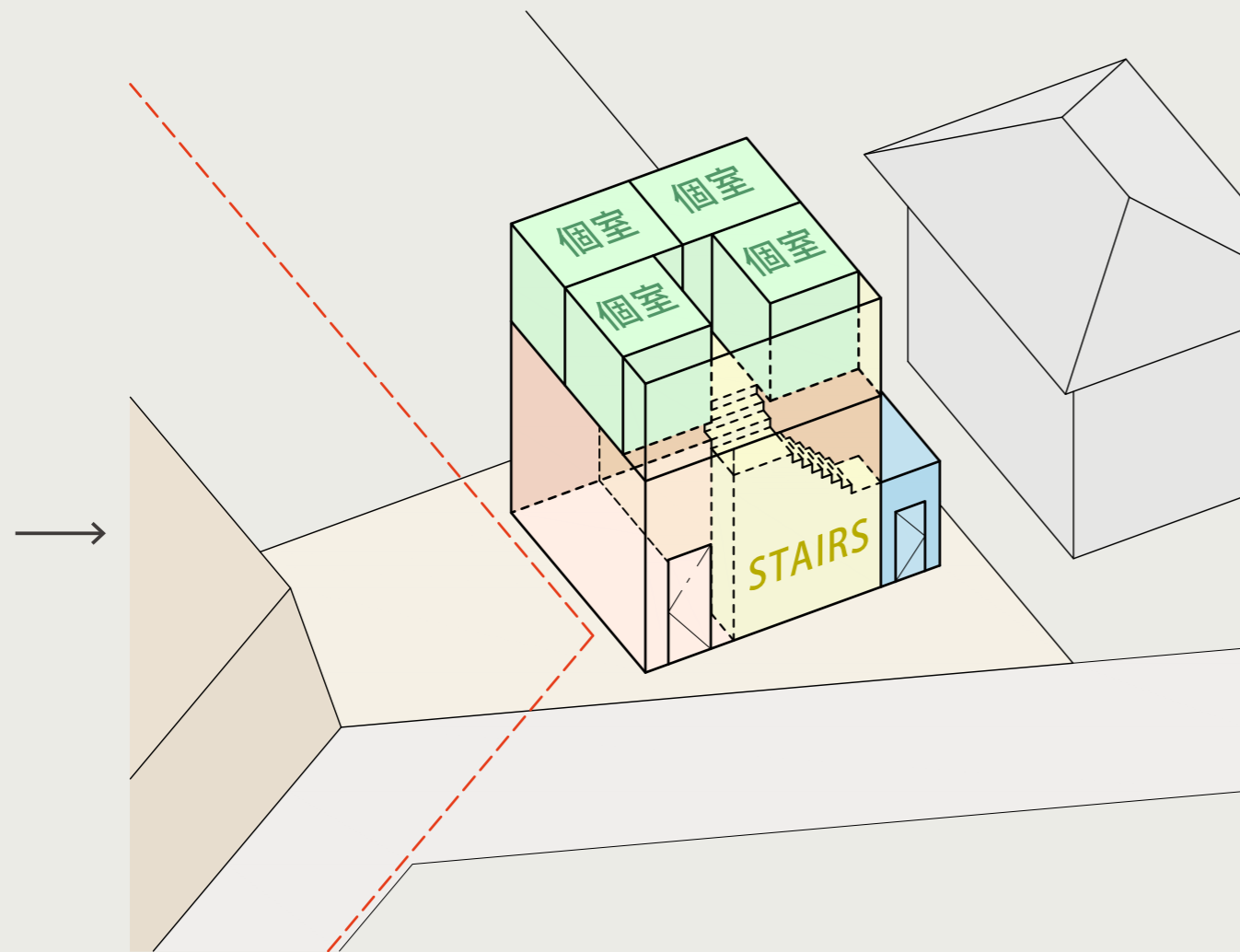
大通りから見通しの利く建物の北側にギャラリー用エントランスを、隣家の影に隠れる建物の南側に住宅用エントランスを、それぞれ設置する。また緩衝エリアとして隣家沿いの1階には水まわりなどのバックヤードを納める。

平時のリビングは会期中はギャラリーとなる。またダイニングは将来的にワークショップなどのイベントを開催する際にスタジオとなる。

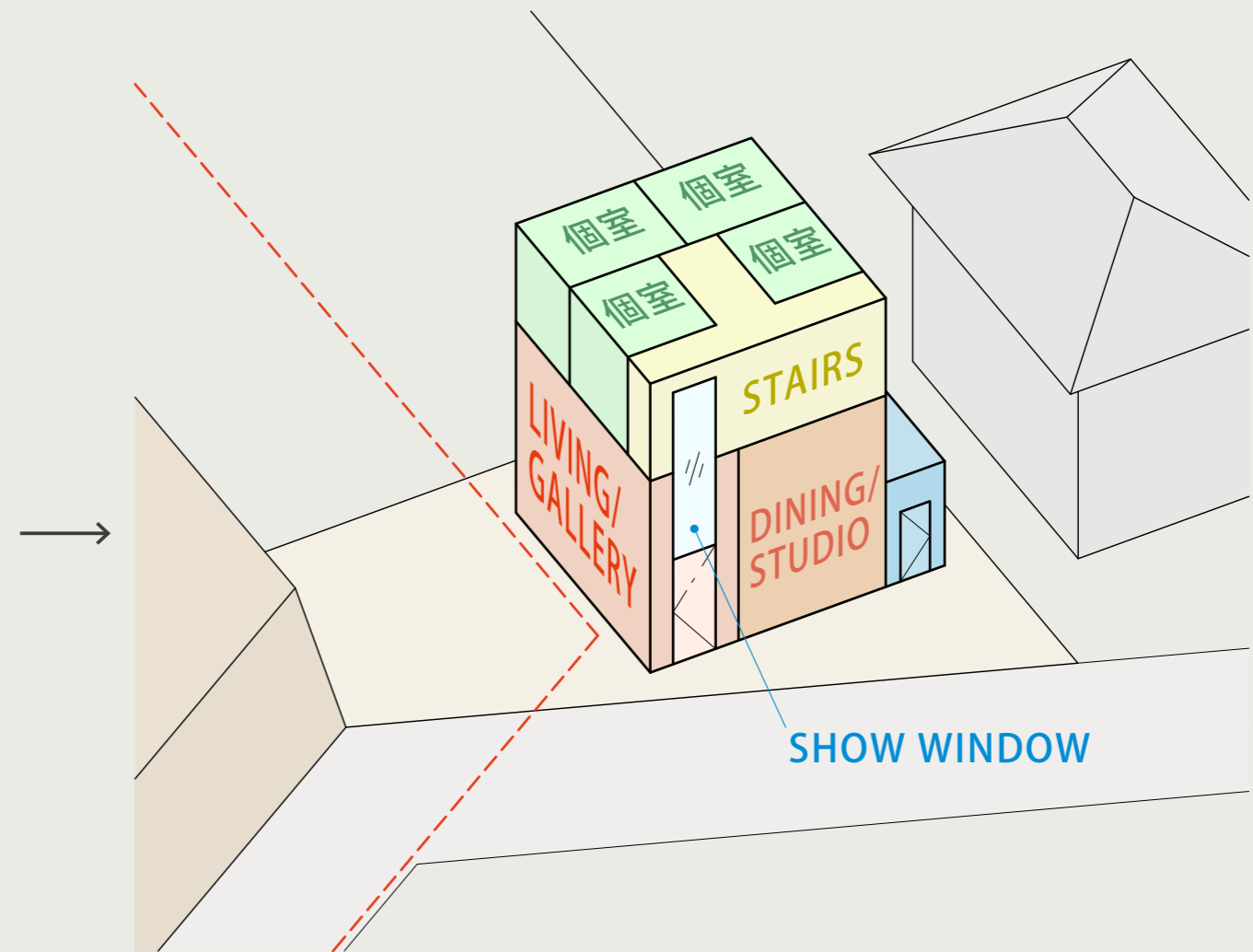


### 3.CONCEPT

ダイアグラム



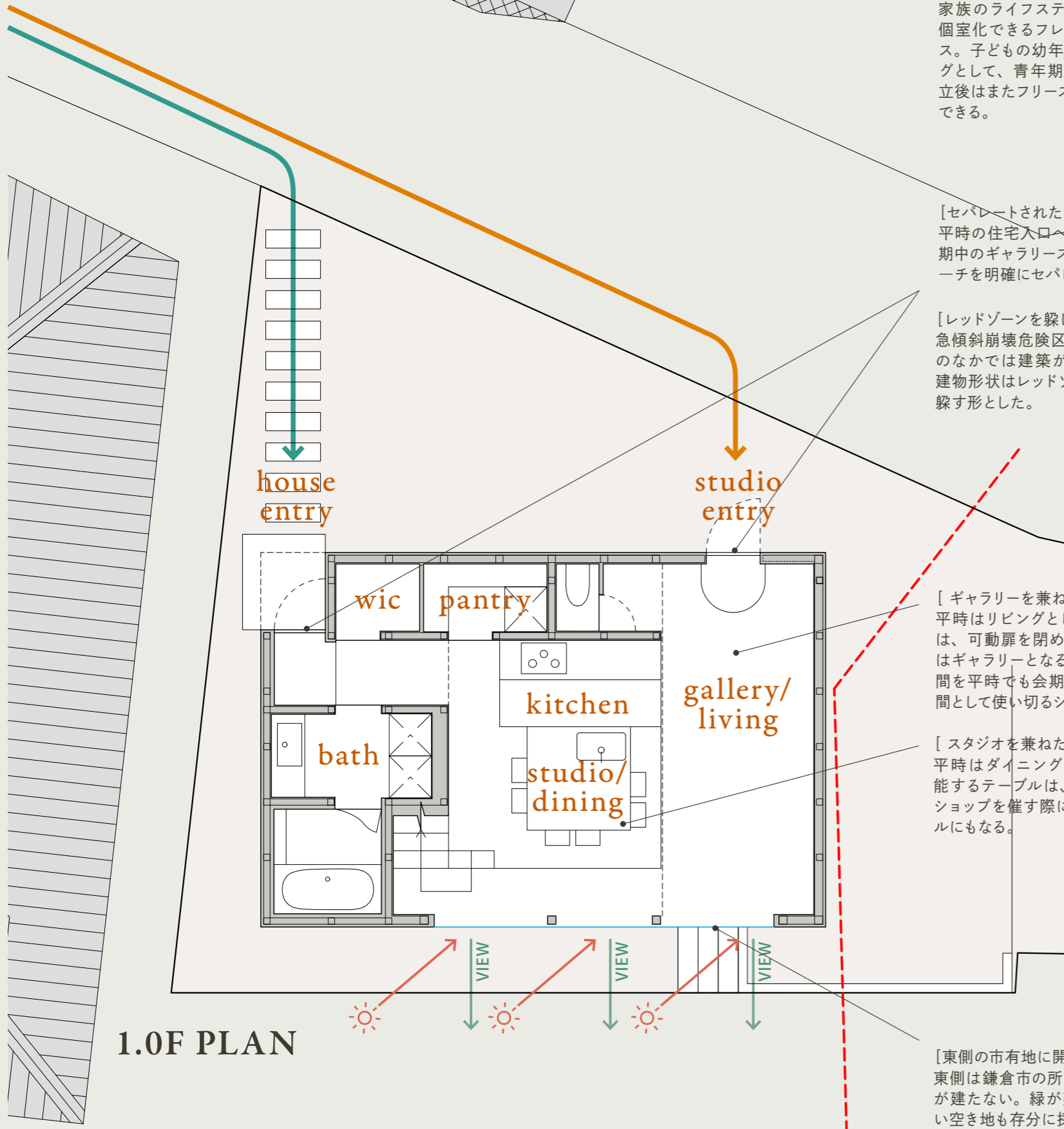
費用対効果を高めるため、2階の各個室は最も面積効率のよいシンメトリ配置とした。また無駄な廊下をなくすため、階段を建物中央に上り切るように計画した。



ギャラリー前の窓は特別大きくして、テキスタイルを吊るして見せる、ショーウィンドウとした。

# 4. PLANNING

平面計画図



1.0F PLAN

[フリースペース]  
 家族のライフステージに合わせて、個室化できるフレキシブルなスペース。子どもの幼年期は、サブリビングとして、青年期は個室として、独立後はまたフリースペースとして利用できる。

[セパレートされた動線]  
 平時の住宅入口へのアプローチ、会期中のギャラリースタジオへのアプローチを明確にセパレートする。

[レッドゾーンを躲した建物配置]  
 急傾斜崩壊危険区域（レッドゾーン）のなかでは建築が制限されるため、建物形状はレッドゾーンをギリギリで躲す形とした。

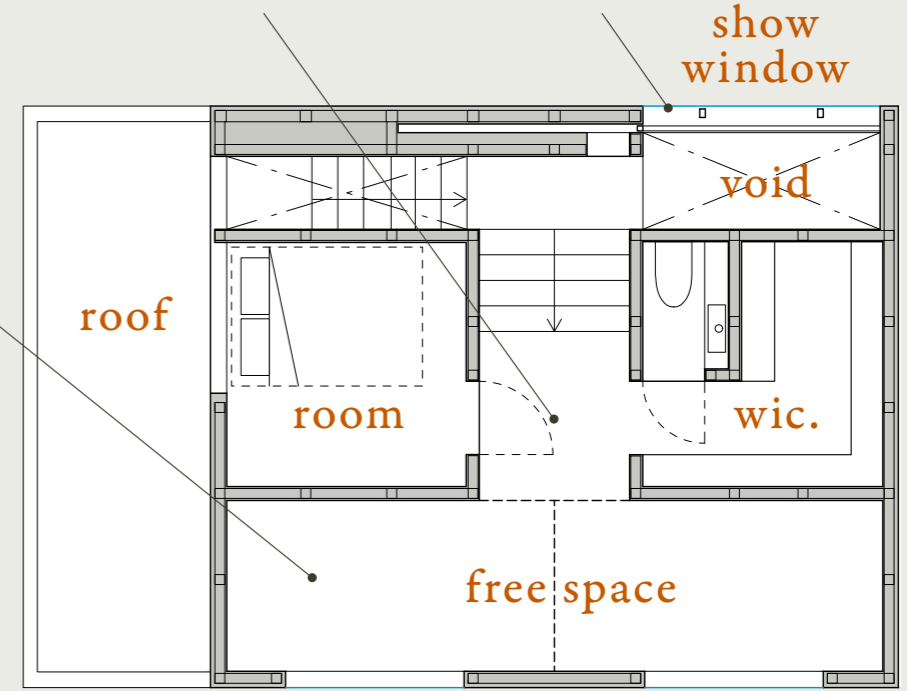
[ギャラリーを兼ねたリビング]  
 平時はリビングとして機能する空間は、可動扉を閉めることで、会期中はギャラリーとなる。最もリッチな空間を平時でも会期中でも、メイン空間として使い切るシステムとした。

[スタジオを兼ねたダイニング]  
 平時はダイニングキッチンとして機能するテーブルは、将来的にワークショップを催す際にはアトリエテーブルにもなる。

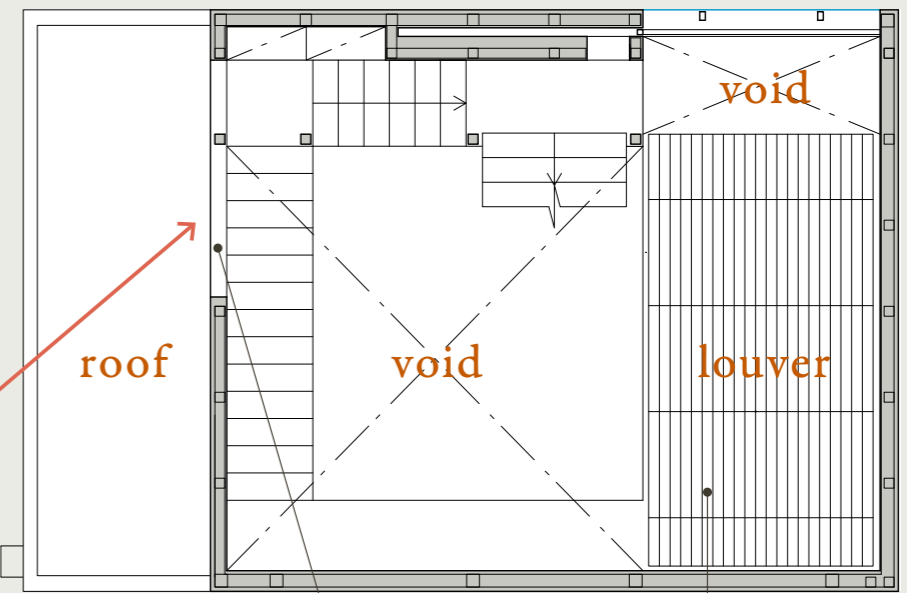
[東側の市有地に開いたLDK]  
 東側は鎌倉市の所有地につき、隣家が建たない。緑が敷き詰められた広い空き地も存分に採り込み活かす。

[効率的な間取り]  
 ホールを中央に据えることで廊下のない無駄のない間取りとする。究極にシンプル化した間取りは、コストパフォーマンスを最大化する。

[ショーウィンドウ]  
 ギャラリー会期中は4.5メートルの縦長窓と吹き抜けにテキスタイルを吊る。道路から見えるダイナミックなテキスタイルは人の目に留まり、建物はギャラリー然とした雰囲気纏う。



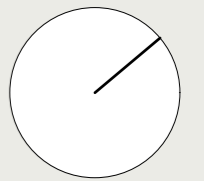
2.0F PLAN



1.5F PLAN

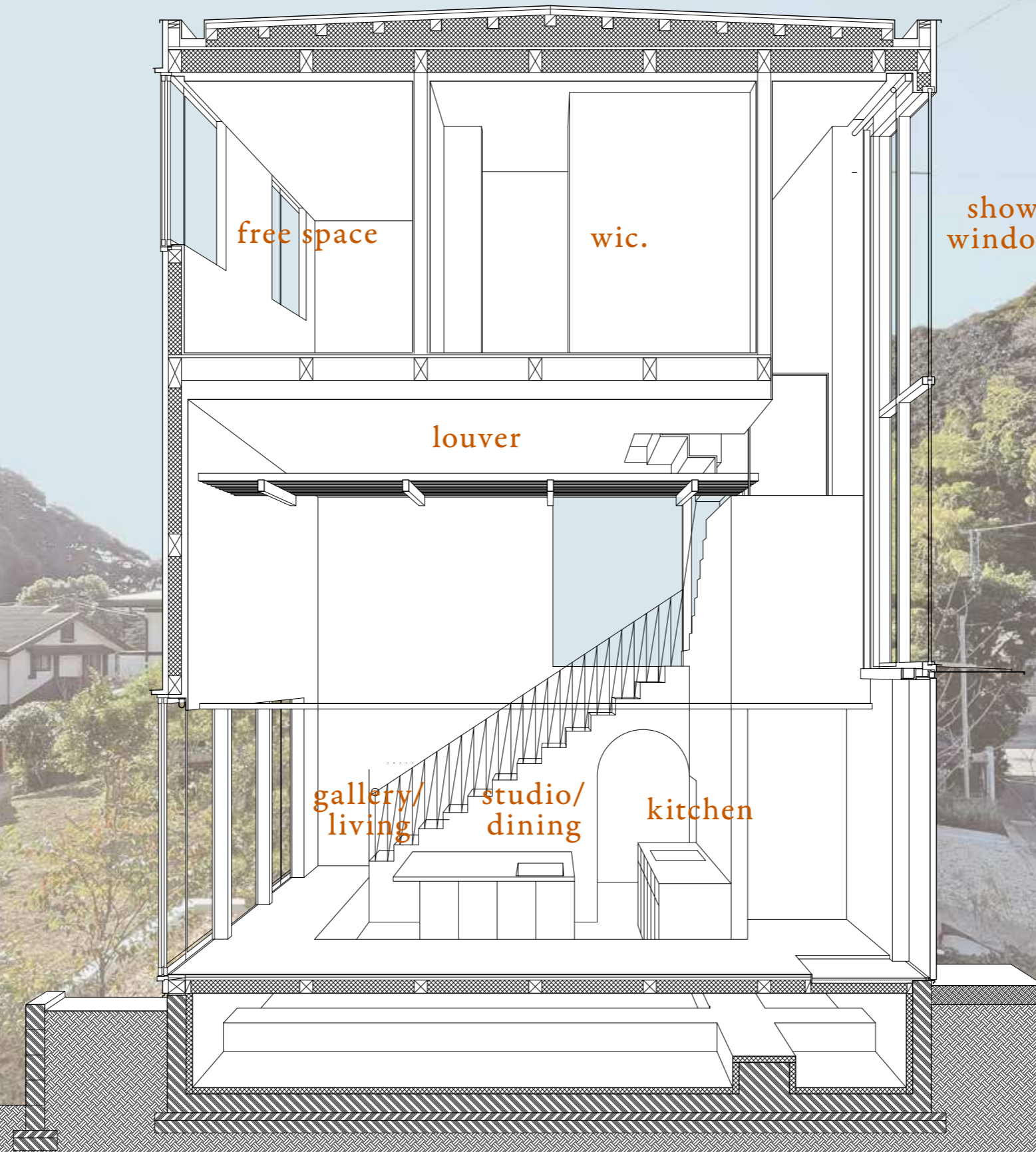
[南からの光を採る建物構成]  
 1.5階と2階ボリュームでは、あえて南側を2Mセットバックしている。隣家を躲して、南側からの日射を1階に届ける。

[展示ルーバー]  
 ルーバーを利用することで、天井から簡単にテキスタイルなどを吊ることができる。



# 4.PLANNING

断面計画図



## 5.REALIZATION

完成建物



ここは歴史的風土保存地区の発祥の地であり、鎌倉のなかで最も景観規制が厳しい場所である。その山林の麓にまるで宝箱のように丁寧に置くように建物をつくった。歴史的文脈や環境に呼応するような姿で佇む。

## 5.REALIZATION

完成建物



北側メイン道路からの外観。要素を削ぎ落したシンプルな外観によって、ギャラリーの会期中には大窓に吊るすテキスタイルが映える。

## 5.REALIZATION

完成建物のシーン抜粋



庭から南光が射し込む。空間の中央に設えたセンターテーブルは、空間の重心となり、家族のアクティビティとコミュニケーションの中心となる。将来的にスタジオ運営する場合には、大勢で囲うワークショップテーブルにもなる。

## 5.REALIZATION

完成建物のシーン抜粋



平時は住宅であるが、年に数回、テキスタイルをコンセプトにしたクリエイティブスタジオとして運営される。天井のルーバーや壁、北側の大窓にテキスタイルを吊して展示空間をつくることができる。ルーバーが壁に映し出す光影は建築がつくる光のテキスタイルである。

## 5.REALIZATION

完成建物のシーン抜粋



まわりが40cm高くなってるため、センターテーブル囲んで座ることができる。このセンターテーブルは大容量の収納を内包した機能的な家具でありながら、かつ家族の団欒を育む情緒的な仕掛けでもある。



## 5.REALIZATION

完成建物のシーン抜粋



ベージュの内装は、窓から射す光や周囲の緑を映し出すベールである。時間や季節の移ろいを、空間のなかに優しく溶かしゆく。

## 5.REALIZATION

完成建物のシーン抜粋



日常に穏やかな出来事を加える空間。この家は家族との絆を育む優しい器なのである。

- 
- 
- 

続きはウェブページからコンセプトブックをお取り寄せ下さい。  
より具体的な物件の写真、建設情報などをご覧いただけます。